

事業統括部長 津幡哲也

「夏も終わりに近づきまもなく秋」

夏も終わりに近づき新たな気持ちで今年後半戦にむけて。暦の上ではもうすぐ秋になりますが、まだまだ暑い日が続く毎日ですね。皆様、いかがお過ごしでしょうか。

気づけば今年も半年が経ち、折り返し地点・後半戦に入っています。前半戦を振り返ると様々な変化があったと思います。思い通りに進んだこと、あるいはその逆で思い通りに進まなかったことなど、私も含め皆様にもそれぞれの歩みがあったのではないのでしょうか。そんな今年、前半を一旦息つきつつ振り返る時間も次の一歩を踏み出すためにも大切なことだと思います。さて、暑さも和らぎこれから過ごしやすくなる季節。食欲の秋、読書の秋、芸術の秋と楽しく過ごせることが沢山ありますが、中でも食欲の秋。旬の味覚を楽しみながら後半に向けて「秋の味覚でエネルギーチャージ」、サツマイモ、サンマ、キノコなど栄養満点の食材を取り入れて、心身共に力をつけていきましよう。そして後半に向けてどのように過ごしたいか小さなことでも目標を決めて再びギアを入れ直す良いタイミングかと思っています。ちなみに私自身は生活のリズムや食生活を見直せたらと思いますが皆さんはいかがでしょう。



多摩事業所

大竹 庸介

がら前向きに過ごしたいものです。そして皆様、季節の変わり目でもありますのでどうか健康管理、体調面には十分注意され、しっかりと休息と十分な栄養をとりながらお過ごしください。そして皆さんと共に後半戦元気に乗り越え実り多いものになるようお祈りしております

第60回社内木鶏会「時務を識る者は俊傑に在り」

耳慣れない題目ですが「十八史略」の中にある言葉で、いま、この時に何を成すべきかを識っている人こそが優れた人物だという意味になります。

日本の歴史でも、その時代にふさわしい俊傑がいて今日まで歴史を重ねてきました。飛鳥時代には聖徳太子が、戦国時代には織田信長や徳川家康、幕末においては西郷隆盛・坂本龍馬、近代では皆さんは誰を思い描くかそれぞれですが、時に必要とされる人々がいて今日の日本を築いてきた歴史と伝統があります。

何気なく暮らす日々の中でも時期を読み間違ったり、ビジネスの中に於いても勝負に出る時を誤って上手く行かずに頓挫するケースもよく耳にしますが、時を誤ってはいけないことだと思えます。今も不透明な時代のように感じますが、いつの時代も常に不透明な中、国の政治を担う方俊傑でないと国を危うくし、国際的な競争や駆け引き、私たち庶民の暮らしにも多大な影響を受けてしまう大事です。



時務を識る者は俊傑に在り

管理事業部に北村さん復帰

5年前迄管理事業部で勤務されていた北村さんが経理関係・総務関連の強化のため本社に復帰されました。斎藤さんと二人の体制です。給与・労務関連のことで相談がありましたら連絡をお待ちしています。

産業医が専任されています

今期より会社として産業医の先生が専任されており、既に皆さんにストレスチェックをお願いしています。が、心身の不調、相談がありましたらご相談下さい。

無災害記録

336日（8月20日現在）

8月に誕生日を迎えられた皆様です

対馬 博子さん
米坂 邦子さん
菊地 眞由美さん
増田 明枝さん
三小田 良子さん
土田 深雪さん
小幡 哲さん
麻生 法子さん
宮崎 厚子さん
樋渡 幸子さん
小川 嘉子さん
松丸 恵子さん
田中 恵美さん
永田 由紀子さん
庭野 京子さん
森 千秋さん

◇編集後記

夏の甲子園・高校野球の終わりとともに秋が近づいてきています。8月10日過ぎから朝晩は比較的過ごしやすくなりました。身体の切替えをしないと夏バテの時期を迎えます。散歩もしやすい季節です。ほどよい運動と健康的な食事にていつまでも元氣に過ごして下さい。